

検討課題	検討の視点	検討事項	検討手法	関係委員	スケジュール												備考	
					25年度4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
事業スキーム全体の進行管理、取りまとめ ・事業スキーム全体の整理 ・実現可能性調査の進行管理					第1ワーキング	・飯田委員 ・丸山委員 進行管理	第2回検討委	第1ワーキング(月1回程度開催)			中間整理	第3回検討委	最終整理					
1	事業実現可能性の精査(フィージビリティスタディ)	・主要地熱発電メーカー設備の比較・検証(フラッシュ発電/ハイナリー発電など) ・臭気対策など懸念事項の検討 ・最適な系統安定化手法(揚水発電/蓄電池等)の比較・検証 ・法令要求事項の整理、対応の検討 ・派生的コスト(発電所土地取得、送配電線の増強等)を含めた事業収支の精査 など	調査/ヒアリング	・野田委員 ・見山委員等	実現可能性調査の実施 各段階で得られた情報を各ワーキングでの検討内容に反映													
2	電力の安定供給に及ぼす影響と対策等	再生可能エネルギーの大幅導入拡大と電力系統の安定的運用の両立 ・地熱発電拡大に伴う電力系統の運用に関する技術的検討 ・地熱等発電設備の運用方法/体制に関する検討 など	第2ワーキング/ヒアリング	・飯田委員 ・東京電力	第2ワーキング(月1回程度開催)													
3-1	事業主体のあり方	地元利益をもち、安定的な事業執行を行える事業主体選定のためのルール必要性 ・事業主体の構成の想定(地元事業者、設備メーカー、開発事業者等の民間事業者の参画の程度を含む。) ・固定価格買取制度の買取期間終了後の事業継続の担保 ・事業主体「選定ルール」の内容、実施手段(公募方法・条件、協定内容)	第3ワーキング	・丸山委員 ・飯田委員 ・見山委員	第3ワーキング(月1回程度開催)												各ワーキングでの個別検討課題を第1ワーキングでとりまとめ	
3-2	行政関与のあり方(八丈町、東京都)	適切な地元利益を担保するための行政の役割、施策 ・3-1のルール導入の前提となる条例、ガイドライン等による「基本ルール」の検討 ・八丈町、東京都の事業関与の是非、内容 ・4のうち、行政による施策化			必要に応じて合同開催	第4ワーキング(月1回程度開催)												
4	事業効果の地元還元策/関連事業の創出	地元ニーズ、波及効果、実現可能性を踏まえた取組の抽出 ・地元ニーズの把握 ・還元策、関連事業の抽出(余熱利用の拡大、観光振興、行政施策への反映等) ・事業転換に必要な誘導策 ・効果予測(産業連関分析等) ・事業収益を前提とした実現可能性の整理(短期/中期/長期) ・3-1事業主体選定ルールへの反映	第4ワーキング	・丸山委員 ・飯田委員 ・商工会 ・産業育成会 ・中之郷地域代表者	第4ワーキング(月1回程度開催)													
地元との情報・意見の共有		・時点ごとの適切な情報共有(臭気対策など懸念事項を含む。) ・町役場を中心とした地元連携のあり方 ・事業スキーム検討、資金調達への地元参加の検討	説明会等	・飯田委員 ・丸山委員	説明会、勉強会、意見交換会(ワーキング開催等に併せて随時)													
ヒアリング目的		ヒアリング内容		検討手法	関係委員	スケジュール												備考
個別ヒアリング	事業主体の想定	上記検討を踏まえた具体的な事業主体選定のために必要となる基本情報の収集		-	・見山委員 ・七島信組	1次ヒアリング(基本情報の収集・整理)	主体・資金の構成検討		2次ヒアリング(3-1事業主体選定ルール導入に向けた情報精査)									
	資金調達(資本・融資)の想定	・資金全体における資本と融資の割合及び調達先の想定 ・地元住民、地元事業者からの資本参加の程度・手法 ・設備メーカー、開発事業者等民間事業者の資本参加の程度・手法 ・地域金融機関、大手金融機関からの調達の程度・手法 ・活用可能な公的資金の整理				実現可能性調査												

ヒアリング内容を反映

意見を反映

※ 一部ヒアリングを除いて、八丈町及び東京都はすべて参加
 ※ WG、ヒアリングは必要に応じて回数等を追加